

令和5年度 第4回 大垣市行政改革推進審議会 会議録

日 時：令和6年2月21日（水）午前10時00分から午前11時05分まで

場 所：大垣市役所 3階 会議室3-6

議 題：大垣市第4次行政経営戦略計画後期実施プラン（案）について

出席者（敬称略）

（委員）谷江 幸雄〈会長〉

田中 久志、野崎 道哉、小林 一貴、今井 茂樹、杉田 邦隆、

田中 慎也、松山 昌代、多和田 智子、小菊 天瑠、谷口 圭子【計11人】

（市及び事務局）

岩崎 義博（総務部長）、豊田 貴洋（行政管理課長）、

加藤 重徳（行政管理課主幹）、今尾 智子（行政管理課主任）、

後藤 澄光（行政管理課主任）

欠席者（敬称略）（委員）高木 健志、岡本 敏美

事務局	<p>※ 欠席者の報告（2名）</p> <p>※ 公開審議を宣言</p> <p><議事進行については、大垣市行政改革推進審議会設置条例第5条第2項の規定により、会長が会務を総理することとなっているため、以降の議事は会長が執り行う。></p>
事務局	<会議冒頭あいさつ>
会長	<p>※ 議事録署名者として、野崎 道哉委員と小林 一貴委員を指名。</p> <p>※ 事務局に対し、議題(1) 大垣市第4次行政経営戦略計画後期実施プラン（案）についての説明を要請。</p>
事務局	※ 大垣市第4次行政経営戦略計画後期実施プラン（案）について説明。
会長	・ただいま事務局から説明がありました。ご意見がありましたら伺いたいと思います。
委員	<p>・前回の会議でもお話し申し上げたと思いますけども、市民との共創のベースに情報の共有があり、いかに進めていくかということが課題ですが、それに対しまして、情報発信も最近非常に意識されているなという印象を受けます。ホームページを含めまして非常に良い傾向ですので、今後も進めていただきたいと思います。</p> <p>・7ページの地域自治活動の促進について、同じようなことが書いてありますが、基本的には、インセンティブをどういうふうに作っていくかということが非常に大きな要素になってくると思います。例えば、自治会の加入率がどんどん下がっている状況でありますので、それを考える必要がある</p>

	<p>など思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の強化のところで、避難所運営の項目がありますけれども、ほとんど大規模施設が避難所になっていますが、小規模避難所も具体的に考える時期に来ていると思います。大きな体育館は、食料など運ぶことやいろいろ供給するには適しているかもしれませんが、人口も減っていることをごさいますし、小規模避難所についてお考えいただければと思います。 ・8 ページで男女共同参画の推進という項目が挙げられておまして、非常に良いと思います。共同参画を阻んでいるのは、要するに無意識のバイアスだと思います。これを脱却するのは、なかなか難しいです。特に私ども高齢者になりますと、バイアスだらけでございますので、そのために背中を押す形の構造っていうのは非常に大事だと思いますので、ここに書かれておりますように、登用率をきちっと上げていただきたいです。これについては、どんな状況にあるのかという進捗状況をチェックする姿勢が必要じゃないかと思っております。 ・女性の市議会議員さんの数は、30%に近づいており、これは非常に良い傾向だと考えております。 ・4 ページの小中学校の再編整備等の項目に、良好な教育環境を維持するため、学校規模の適正化を推進するとありますが、この適正化とは、数字的にはどの辺りを意図されているのかをお聞かせいただければ有難いです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模の適正化の割合でございますが、具体的にどれだけというのはない状況と認識しております。ただ、言葉で表現するだけでよろしくないと思いますので、担当課の方と一度検討させていただきたいと思っております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・8 ページ 46 番の男女共同参画の推進というところでございますが、年度ごとの目標とさせていただいておりますので、毎年の状況についてはご報告をさせていただき、その中でチェックを引き続きしていきたいと思っております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等の部分で女性比率が書いてありますが、例えば年齢をもう少し引き下げるとか、その辺の話は出てこないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、1月1日現在の審議会委員の登用状況を調査しております。以前は、男女共同の観点から女性の割合を調査していましたが、昨年度から若年層ということで、39歳以下の方がどれぐらいいらっしゃるかを統計数字として取るようにしております。 ・令和6年1月1日時点の状況ですが、39歳以下の委員さんがいらっしゃる

	<p>る審議会の数が 24 で、全体に占める割合は 24.7%となっております。本審議会の中でも 39 歳以下の方が委員になっていらっしゃるしますので、本審議会もその中の一つとしてカウントしております。参考になりますけれども、1 年前の令和 5 年の時点では、19.6%ということで、少し伸びている傾向にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • また、子ども基本法の制定により、いろいろな政策の中に子どもの意見を取り入れるというようなことが世の中の動きとしてあります。そういうこともありますので、審議会に直接入ってできるかどうかというところはありませんが、少しでも若い方の意見を取り入れることを市としてやっていきたいと考えております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 先ほど少しご説明した審議会の改革という中で、男女共同はもちろん継続していかないとはいけません、若年の方をいかに登用していくかということが、取り組むべき課題として非常に重要視して考えているところでございます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 一つ質問ですけど、収納率の向上の住宅使用料というのは、具体的にどういものでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 大垣市に市営住宅がございますので、そちらの家賃などの使用料とご理解いただければと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 次世代型行政サービスの充実の市政情報発信の強化で、SNS などを充実させるとともに、必要なときに必要な人に必要な市政情報を発信するとありますが、発信する側がどこに着眼して発信するかが重要だと思います。適材といえますか、発信する人が、みんなにちゃんと届くような言葉を発信できるかどうかということの重要性がありますので、どのようにして人を選ぶのかということも、ちょっと気になるなとは思いました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • すでに一部でやっていますが、お子さんが生まれ子育て情報が欲しい場合は、LINE などを使い、保健センターからプッシュ型で積極的に発信できれば、ある程度求められるような情報が伝わるかと思います。 • おっしゃられるように、ターゲットをどこに絞って、その人が欲している情報が何かということはどうやって考えるかということが、これからの課題であると思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 今は、全部の人に平等にというスタンスで情報発信しているところがございまして、必ずしもそれだけではなく、特に必要とされている方がいらっしゃいましたら、そういったところにターゲットを絞っていくことも必

委員	<p>要だと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに、広報を通してということもありますが、それぞれの部署で発信するところがございますので、そういった職員の意識を変えていくことも必要ではないかと考えております。 ・情報発信についてですけれども、市民に対して発信するという努力はされていると思いますが、オープンチャットを利用して、市民と行政とが直接対話する形もあると思えます。 ・ネットなどで調べてみると、5,000人規模ぐらいの町単位で、オープンチャットを使った実践例がいくつかあるようです。ただ16万都市になると、非常に難しい面があるかとは思いますが、何か工夫できないのかなと思えます。 ・私が住んでいる自治会でも、役員会などをオープンチャットでやったりしております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報ではないものが入ってきて、偽の情報で先導されるようなことがあると、一番問題になると思えます。課題を整理しながら、何か良い方法がないか検討していく必要があると思えます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・プッシュ型という、登録をしてもらおう手続きがどうしても必要です。民間では、登録をしてくれれば割引しますよというのがあり、登録した人に対していろいろな情報を送ることができますが、行政ですと、なかなか難しい面があります。 ・子育てでは、保健センターと必ず関わりますので、まず取り掛かりのところで登録していただいて、継続的に子育て情報を送ることができますが、それ以外で、どういった形で登録をしていただけるのかを知恵を絞って考えていかなければいけません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・我々はこの審議会で、情報発信、市民協働というのをずっとやってきた関係もありましての質問ですが、5ページの魅力的かつ効果的な情報発信の魅力的っていうのは、どういう捉え方をされていますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市では今、水都再生を進めています。そういったものを分かりやすくということでは、動画が今の時代では良いのかなと思えます。何が魅力的かという捉え方は難しいと思えますが、アピールする方法としても、大垣っぽいところがあるということでも、動画で発信したりするのも一つの方法かなと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な対象者は、市民なのか、それとも大垣に移住を考えている方々で

	<p>しょうか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方もですが、大垣に移住定住していただくためには、外部の人に、より大垣の魅力を発信するというのがまず一つ考えられるかと思えます。 ・市の中でイベントをやるにしても、その魅力的なイベントに参加していただける市民に対しての発信を考えていかなければいけないということで、抽象的な魅力的という言葉を使っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中身の魅力も当然必要ですし、見せ方の魅力も必要になってくるので、抽象的な言葉で表現してしまっているところはあります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の審議会でも市民との協働ということで、いろいろ議題に上ったことが多かったと思いますが、7ページ40番のところで、協働事業数の目標が令和6年度は1,960で、1,970、1,980とほぼ横ばいという感じで目標が設定されています。1,960というのは、年間の事業数にしては大変多いと思いますが、他の自治体に比べて、市民との協働事業数が1,960というのは多い方ですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・他都市との比較までは持ち合わせていないので、何とも言えないところがございますが、大垣市としては、市民活動部ということで、市民との協働に力を入れてきたところがございます。件数としては、大きいところから小さいところまで拾っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・協働体制を確立することを目標にされているので、事業数をKPIにしていらっしゃるかもしれませんが、2,000近くの事業を1年間にやるうちに、市民との協働体制が確立されたのかどうかというのはいかがですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課ではないため、肌感覚としてはあまり分からないところはあると思いますが、連携することでいろいろな人との繋がりができ、新しいイベントをやったりするのもスムーズになっているという話は聞きます。目標として確立するというのは、非常に大げさな言い方をしておりますが、地道にそういった関係は築かれていると考えております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事業数が多いから協働が進んでいるということは、必ずしも言えないところを念頭に置きつつ、ある程度数量として測るのが最適ではないかと思っております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・8ページの多文化共生の推進というところで、外国人人口に対するということでいろいろやっけていらっしゃるかもしれませんが、具体的に外国人人口をい

	<p>つまでに何人増やすかという目標はありますか。大垣市民全体ではあったと思うのですが。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・未来ビジョンの中では、人口 15 万人を維持する目標がございますけれども、外国人に対してというのは特にはないと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・15 万人維持の中に、外国人人口も含まれますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・含まれます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで、本日ご欠席の委員さんから、今回の計画に対してのご意見をいただいておりますの、事務局から紹介をお願いします。
事務局	<p>【意見内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期プランの公共施設のマネジメントの 23 番小中学校の再編ということで、小中学校のあり方の検討として、上石津の小中学校の再編がプランに明記されて、令和 6 年度から小中一貫校としてのスタートということになりますけれども、後期プランでも、小中学校のあり方検討と明記してありますが、もう少し踏み込んでと思います。 ・具体的な学校名は難しいと思いますが、小規模な学校の再編、それと少子化に伴って、各学校にて活動が困難になってきている部活のあり方についても、考えを示していくことが必要と考えます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見については、どこまで踏み込んで書けるのかという問題はあるかと思いますが、担当課の方とも調整して、ご意見をなるべく尊重して、プランに反映できたらと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今の意見に関連して、学校規模の適正化について、生徒だけじゃなく、教員がどういう形で確保できるかっていう視点も持っておかないといけません。今、本当に教員不足ですから、やっぱり良い先生に教えてもらいたいということがあるので、その辺の事も何らかの形で織り込んでいく必要があるかなというふうに思っております。 ・私も義務教育学校という形で大垣市と繋がりがありますけれども、子どもたちの数が減りまして、学級数が確保できないということと、先生方についても、講師や兼務という形になってしまい、これでは子どもたちの教育について絶対駄目だっていうことで、あえて踏み切りました。 ・子どもたちの数が減ったという再編もありますし、多すぎるので、それをちゃんとできるのかっていう再編もありますので、今後も再編等を考えていく必要があるかなと思っております。

委員

- ・市民との共創の推進というのが大きな柱になっているわけですが、大垣市には大学が3つもあります。16万都市で3つもあるということは、すごいことだと思います。岐阜協立大学、大垣女子短期大学、それから情報科学芸術大学院大学があり、音楽、デザイン美術、スポーツ系、情報系、経済経営など、非常に多彩な学科があります。
- ・これは大垣市にとって、大きな支援だと思います。しかし、審議会の委員や各種契約の際に大学の教員が協力するといった、単に大学との協力というレベルで止まっていると私は思います。ですので、もう一步踏み込んで、行政と大学が一体になってやることで、大垣市の将来が発展することが可能になると思っています。
- ・大垣市はもっと変わらなきゃいけない。岐阜協立大学を公立大学法人化するという動きが昔からありまして、大垣市との間の協議もありました。知の拠点である大学を市政の中にもっと踏み込んで位置づけることが、必要ではないかと思えます。
- ・公立大学法人化については、もちろん、市側の負担について懸念があるということは当然分かります。けれども、公立大学法人化すると、学生1人当たり数十万円の運営交付金が出て、学費をぐっと下げることができます。また、社会的な評価が高まって、優秀な学生が全国から集まります。
- ・大垣市には西濃さん、大垣共立銀行さんからセリアさんも含めて、上場企業が8社ございますので、優秀な学生を育てて、地元の有力な企業さんに採用していただき定着を図っていくことは、非常に良い循環で、少子化にも役に立つと思います。
- ・これは私の意見でありまして、後期プランにどう追加するかということではないですが、単なる大学と市との協力のレベルを超えて、もっと踏み込んで、大学と行政が文字通り一体になっていくことが大事なんじゃないかなという思いでおります。

委員

- ・孟母三遷じゃないですが、基本的には、良い学校があると周辺から来ると思えます。いろいろなところから人が集まってきて、そこで定着されるっていう形が良いことだと思います。
- ・こんな視点で考えていらっしゃるかどうかの確認ですけれども、3つの大学がありますが、例えば名古屋から来た人が、バスですっと行けるように、バス路線の見直しをされているのでしょうか。大学に通うためのバス路線の再編まで考えて、学生を呼ぶという手段をとっていく必要があると思います。
- ・そういった視点で当然お考えになっていらっしゃると思いますがけれども、東海道線で名古屋や滋賀県などから大学に来る人が、通学しやすいようなバス路線にすることも考えていただけたらと思います。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公立化の動きがあるという話をしましたけれども、皆さんもご存じだと思いますが、岐阜協立大学、前の岐阜経済大学は、大垣市を中心とした地元の自治体、経済界、教育界の支援を受けて設立された公設民営の大学です。 ・1960年代の高度成長期に、国立の岐阜大学には経済学部がないため産業が発展している大垣市に経済系の大学をつくろうということで、創立された大学です。ですので、普通の私立大学とは違います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをしやすいまちをずっとうたわれていますけども、その中で、今の子育てしやすいってところが、すごく小さいお子さんを育てやすいところにとどまっている気がします。幼児教育学科もそこには力を入れ、いろいろ努力させていただいてはいますけれども、もう少し広げても良いのかなと思います。 ・幼稚園もあれば小中高大まであるわけで、具体的にどうするっていうのは先の話ですけど、そこまで包括していますよっていうことを売りにしても良いのではないかなと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てというのは幼児だけではなくて、小学校中学校、部活の問題などがあります。学校は地域の学校ということで、学校だけで子どもを育てるのではなく、地域と学校のみんで連携して育てていくように、PTAの方でも一緒に協働していこうという形になっています。 ・そこから地域に広がると、行政のいろいろな施策に繋がっていくと感じていますので、行政改革推進審議会へはこの項目なのかもしれませんが、もうちょっと分かりやすく、項目が多くても良いのかなと思います。これだけ見ると、少ないな、これ何をやっているのかなという印象を受けましたので、市民の皆さんに分かるように広めていっていただけると良いと思います。 ・こうやって活字だけ並べると、今、何をしていた、どう動いているか分かりにくく、目標がパーセントでもピンとこないところがあります。一般に出たときに、どれくらいの方が見られるのか分かりませんが、大垣市として、こういうことを取り組んでこうなりたいんだよっていうのが、SNSなどで子どもたちまで分かると良いと思います。 ・無関心な人はたくさんみえると思いますが、無関係な人はいないと思うので、全ての人に広く伝わるような広報の仕方ってところにも繋がっていくのかなと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに、数値目標や抽象的な書き方が多くて分かりにくいという印象はあります。今言われたお話ですと、総合計画の方には盛り込んできちんとやっていかなければいけない話であり、ご意見をそちらの方にお伝えさせて

	<p>いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年課長1年目ですが、私自身も曖昧にしているところがあり、行政経営というのは、総合計画に対してどういった位置づけに立つのかを常日頃考えているところです。総合計画の中に、委員がおっしゃられた子育てなどをもっと全体的に充実させていくことによって、人口問題もですが、地域の問題や教育の問題に繋がっていくと思います。そういったものが総合計画の中できちんと描かれて、行政経営の方はそれをサポートしていくための財政や人材、技術、情報、物、あるいは連携という枠組みをきちんと下支えとして作っていかないといけない位置づけなのかなというのを理解し始めたところです。 ・今いただいたご意見は、総合計画の側面であり、行政経営の側面でありまして、非常に重要なご意見だと思いますので、どれほど文言化できるのかというところはございますが、ご趣旨としては反映させていきたいと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの子育てについて、どこまでが子どもなのかというのが極めて漠然としておりまして、その都度変わっているような感じがします。ある程度そこはしっかり考えていく必要があると思います。どちらかという、目からうろこのご発言でございました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日この会議でいただいたご意見を踏まえまして、もう1回プランを検討して、最終的には今年度中にまとめて、ホームページなどで公表ということにさせていただこうと思っております。 ・今までの場合ですと、これをそのまま載せてというやり方をしていたというところもありましたので、少しでも伝わるような工夫を考えないといけないなと思いました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県外から大学に部活動をメインに進学にして、地元に戻る予定でしたが、大垣市に住んでいて、大垣市がとても魅力があるため、大垣市周辺でこれから就職を考えたいなと思っています。 ・駅伝部に所属していますが、県外からいろいろな方が進学していて、すごい魅力ある大学を有しているので、そういうところをしっかりとアプローチしてみたら良いと思います。若者が最低でも2年間、4年間大垣市に来るっていうのはすごいチャンスで、その先も大垣市に定住してもらえよううまくアプローチしたら、若者の数も増えていくのではないかと1体験として思いました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今おっしゃっていただいたような話ですが、岐阜協立大学さんだと、全国いろんなところから学生が来られていますので、中からの視点だと分から

	<p>ないような見方で、大垣市の何が魅力的でどこがいいのか、今、将来も大垣市周辺でというような話も出ましたが、そういうふうに思うのはどうしてか、そんな視点があると、逆に内側にいる人間が見逃しているところが見えるのかなと思います。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・後期プラン（案）の今後の取り扱いですけれども、委員の皆さんからのいろんなご意見が出ましたが、それを踏まえて修正することは修正されて、ホームページなどで発表されていくということになりますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・後期プラン（案）については、概ね原案通りということで、修正する点や追記する点があるかもしれないということも含めてご了解いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員一同	<p>※ 異議なし</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それではその他に移ります。全体を通して何かございましたら、よろしくをお願いします。
委員一同	<p>※ 特に意見なし</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは特にご意見等ございませんので、これで終了させていただきます。進行を事務局の方にお返しいたします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんご意見をいただきましてありがとうございました。 ・会長のまとめていただいた中にもございましたが、いただいたご意見を踏まえまして、どこまで文言化できるかということはあるかもしれませんが、担当課と調整をさせていただいて、できる限り盛り込んでまいりたいと思っております。その後、市長決裁を経まして、ホームページで公表して、市民の方とも共有していくことを考えております。 ・それでは、以上で令和5年度第4回大垣市行政改革推進審議会を終了させていただきます。 <p>※ 閉会（終了時刻：午前11時05分）</p>